

## 第9回東山会イブニングサロン開催報告

庶務理事 梅原徳次

2011年11月4日(金)、名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー3階のベンチャーホールにて、第9回東山会イブニングサロンを機械学会東海支部と共催で開催しました。

夕方午後6時から、ワインとサンドイッチを頂きながら、「先進医療に貢献する機械工学」と題して、2件のご講演を頂きました。

1件目は、機械学会東海支部の推薦で、講師として、三菱重工業(株)機械・鉄鋼事業本部機械事業部副事業部長 平井悦郎氏をお招きし、『小型Cバンド加速管を用いた高精度画像誘導放射線治療装置の開発』と題したお話を頂きました。また、もう1件は東山会理事会からの推薦で名古屋大学医学部医学科YLP非常勤講師 祖父江 恵氏(平成11年卒58回生)から『救急医療と機械工学』と題したお話を頂きました。両講演とも非常に魅力的なテーマであり、60名の参加となる盛況な講演会でありました。

以下にご講演内容の一部を紹介致します。

『小型Cバンド加速管を用いた高精度画像誘導放射線治療装置の開発』では、がん治療法の一つとして、外科治療(患部切除)、化学治療(抗がん剤)と匹敵する治療法として近年治療成績が向上している放射線治療を行う治療装置の特徴と開発の要点を紹介頂きました。具体的な開発のためには、重工業の企業の開発者と医学者が共通認識を持つことが必要であり、徹底的にニーズを知るために、人事交流等を進める事で開発を成功に結びつけたことが紹介されました。機械技術者の医療という新しい事業分野での開発に関する講演であり、終了後も具体的な質問が数多くなされました。

『救急医療と機械工学』では、工学修士と医師という講師の特別なキャリアを背景に、救急医療の実際の現場を米国等での豊富な事例で紹介頂きました。多くの現場写真を紹介しながら、実際に米国等での救急医療の現場を担当した点から日本の救急医療の未熟さを具体的に紹介頂きました。本講演では、講師から本分野の発展のための激しい気迫が感じられ、聴衆一同は圧倒されながらも非常に頼もしく感じました。

ご講演を賜りました平井悦郎様、祖父江恵様、ご参加下さった卒業生・在校生の皆様、誠に有難うございました。



講師：三菱重工業(株)機械事業部副事業部長  
平井悦郎氏



講師：名古屋大学医学部医学科 YLP 非常勤講師  
祖父江恵氏(平成11年卒58回生)



東山会副会長 田中英一氏の挨拶



ワインとサンドイッチ



熱心に聞き入る聴衆者



聴衆との質疑応答